

研究の育て方

第2部 第 11 章:採択される研究助成申請書の書き方

概要

研究テーマを設定する上で知っておくべき研究テーマの大きさや、研究者を目指す人および初心者向けの「研究テーマの育て方」

目次

1. 研究助成とは
2. 研究助成申請書の書き方

1. 研究助成とは

p 102 ~ 107

研究助成を得るメリット

第一のメリット…助成金

第二のメリット…モチベーション効果(やる気)

第三のメリット…研究者としての業績になる

研究助成の探し方

研究助成してくれる団体は 1000 団体以上

助成金情報(データ検索) …公益財団法人助成財団センター

政府による公的な研究費 …府省共通研究開発管理システム(e-rad)

科学研究費補助金(科研費)の審査方法

審査方法は2段階

1段階… 研究計画1件あたり4～6人の審査委員が個別に審査

約 300 専門分野の約 5000 人の審査委員が、約8万件の研究計画調書を審査

2段階… 第1段審査の評価をもとに、10 数人～30 人程度の専門分野ごとの総合的な調整

審査員1人あたりの審査件数は平均 69～98件

※筆者の場合

まず概要を読み、全体にサッと目を通して

①学術的重要性 ②妥当性 ③独創性及び革新性 ④波及効果・普遍性 ⑤業績

のいずれかに「落とす理由」を記入する →概要の重要性

その後、強みと限界の両面を考え、相対的に評価

科研費を頂いたからには期待した効果が得られなかったとしても何らか(論文や学会発表)で残す必要がある→コンピテンス(遂行能力)の必要性

2. 研究助成申請書の書き方

p 107 ~ 111

研究助成申請書作成上のポイント

・概要、要旨

最も読まれ、かつ重要数百字という制約の中でも、新規性や意義、実現可能性が高い研究計画であることを表現する必要がある

・背景と目的

先行研究の到達点に触れながら、**新規性・独創性**を書く

その研究で明らかにする目的だけでなく、**意義・成果**も書く

掲げた仮説が支持されても否定されても価値がある仮説が望ましい

・計画(対象と方法)

研究デザインとセッティング、対象の選択基準とそれを満たす対象が集められる見通しなど
実現可能性が高いことを示し、分析枠組みや集めるべきデータの内容や収集方法、分析手法
など、研究の遂行に必要な情報を漏れなく具体的に書く。

- ・共同研究者

- そのテーマについて実績がある研究者を含むこと
 - 研究計画遂行上の役割が明確なこと
- が必要

- ・表記レベルの留意点

適度に小見出しや重要部分のみフォントをゴシックにしたり下線をつけたりして、拾い読みするだけで概要が分かる申請書にする

不採択になる研究計画書の共通点

- ・研究計画書になっていない
- ・独りよがりでわかりにくい
- ・記載要領を無視
- ・目的が具体的でなく曖昧
- ・研究方法・内容が不十分

ないのは研究費だけの状態にするのが望ましい

3. チェックリスト

p 112

- 概要だけでも、新規性と、意義と、実現可能性は伝わるか
- 専門領域外の人でもわかるか
- 記載要領に従い各欄に書くべきことが書かれているか
- 時数上限を超えたり、大幅に下回ったりしていないか
- 先行研究の到達点を踏まえており新規性は明確か
- 仮説が否定された場合でも意義があることが伝わるか
- 研究デザインから分析方法まで研究に必要な情報が網羅されているか
- 対象と方法は、そのまま論文になるほど具体的か